

First Hit☐ **Generate Collection**

L3: Entry 21 of 25

File: JPAB

Apr 13, 1989

PUB-NO: JP401094379A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01094379 A

TITLE: DISPLAY SYSTEM FOR MAP

PUBN-DATE: April 13, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KIYONO, YOSHIHIKO

COUNTRY

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

ALPINE ELECTRON INC

COUNTRY

APPL-NO: JP62253032

APPL-DATE: October 7, 1987

INT-CL (IPC): G09B 29/00; G06F 15/40

ABSTRACT:

PURPOSE: To make it possible to easily check a destination by displaying a map for a corresponding region on a display device only by allowing a reader to read out the displayed characters of an address described in a name plate, a postal card, or the like.

CONSTITUTION: A CPU 1 controls a card reader 2 adopting an OCR and a CD-ROM player 3 storing many maps in each region, judges navigation in accordance with the storage of an address display read out by the card reader 2, accesses a map with suitable contents by operating the player 3, and displays the accessed contents on the screen of a CRT 5 through a CRT driver buffer 4. Thus navigation is automatically judged from the displayed characters of an address described on a card and a suitable map is displayed on the screen of the display device. Consequently troublesomeness for inspecting plural maps can be removed and a destination can easily be checked.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO

⑫ 公開特許公報(A)

平1-94379

⑪ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)4月13日

G 09 B 29/00
G 06 F 15/408302-2C
M-7313-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 地図の表示方式

⑮ 特 願 昭62-253032

⑯ 出 願 昭62(1987)10月7日

⑰ 発 明 者 清 野 喜 彦 東京都品川区西五反田1丁目1番8号 アルパイン株式会社内

⑱ 出 願 人 アルパイン株式会社 東京都品川区西五反田1丁目1番8号

明細書

1. 発明の名称

地図の表示方式

2. 特許請求の範囲

(1) カードに記載されている住所の表示文字をリーダーで読みとらせ、その住所と適合する区域の地図をメモリ内から呼び出して表示装置の画面に表示することを特徴とする地図の表示方式。

(2) 前記リーダーはOCRとし、メモリはCD-ROMとし、表示装置はCRTとしたことを特徴とする地図の表示方式。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は地図の表示方式、主として名刺、案内状等のハガキ等のカードに印刷記載されている住所の地図をCRT画面に表示させ、位置の確認を行なうことができる地図の表示方式に関する。

〔発明の背景〕

一般的に、名刺や案内状等を受け取った時に、その住所の所在位置が明確に認識できる場合は少

なく、訪問する際等には地図で調べることが多い。しかし、地図を調べるにしても都道府県までは解るとしても、市や町、番地に至っては検討がつかないこともあり、該当地の地図を探すまでに手間を要してしまう。

〔発明の目的〕

そこで、本発明は上記した実状に着目してなされたもので、かかる問題点を解消して、名刺等に記載される住所の記載にもとづいて、その該当する区域の地図をCRT画面上に表示させ、容易に位置確認を行なうことができる地図の表示方式を提供することを目的としている。

〔問題を解決するための手段〕

この目的を達成するために、本発明に係る地図の表示方式は、カードに記載されている住所の表示文字をリーダーで読み取らせ、その住所と適合する区域の地図をメモリ内から呼び出して表示装置の画面に表示することを特徴としている。

〔作用〕

上記したように、本発明はカードに記載されて

いる住所の表示文字からナビゲーションを自動的に判断させて表示装置の画面へ適合する地図を表示するので、一々地図を調査する煩わしさがなくなり、容易に目的地の確認ができることとなる。

〔実施例〕

次に本発明の実施の一例を第1図乃至第2図を参照して詳細に説明する。

第1図は本発明に係る地図の表示方式が実行されるハードウェアのブロック構成図であり、図中1はCPUである。このCPU1はOCRを採用したカードリーダー2と多数の区域別の地図を記憶したCD-ROMのプレイヤー3を制御し、カードリーダー2で読み取られた住所表示の記載に応じてナビゲーションの判断をし、適合する内容の地図をCD-ROMのプレイヤー3を操作して呼び出し、CRTのドライババッファ4を介してCRT5の画面に表示する構成としている。

又、第2図として示すのは本発明に係る地図の表示方式の処理の流れを表わすフローチャートであり、まずカードリーダー2に名刺等のカードが

挿入されたか否かのデシジョンが行なわれる。カードの挿入が認知されると、そのカードに記載されている文字データのすべてを読み、郵便番号の記載の有無をデシジョンする。この郵便番号の有無のデシジョンは予め定められた回行われ、そのn回で郵便番号が認識できない場合には郵便番号が読めたと同様に、次の住所の記載であるか否かのデシジョンへ移行する。ここで、読み取った文字の内容が住所であると判断されると、その文字によって住所を特定し、CD-ROM上での該当区域の位置検索を行ない、CRT5の画面上にその地図を表示する。又、前記した住所の記載であるか否かのデシジョンは予め定められたn回繰り返され、そのn回以内で認識できない場合には前処理で郵便番号が確認されていればその郵便番号をたよりとしておよその区域を選定し、CD-ROMでの位置検索をしてCRT5へ地図を表示する。又、住所が認識できず、郵便番号も読み取れない時にはカードアウトとなり、リードレスとして再度、当初からの処理を繰り返すことにな

る。尚、住所の記載であるか否かの判断基準としては、通常の名刺等の記載態様から、その記載箇所や文字の大きさ等が用いられることになる。

又、本実施例はOCRを採用したカードリーダーとし、CRT5に地図を表示することとしたが、カードリーダーとしてスキャナーを用い、表示装置としてCD等の他の手段を用いることもできる。

〔発明の効果〕

上述したように本発明に係る地図の表示方式によれば、名刺やハガキ等に記載されている住所の表示文字をリーダーに読み取らせるだけで、表示装置に該当する区域の地図が表示されるので、一々地図を調べる煩わしさがなくなり、容易に目的地の確認ができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る地図の表示方式が実行されるハードウェアのブロック構成図、第2図は同処理の流れを表わすフローチャートである。

1…CPU

2…カードリーダー

3…CD-ROMプレイヤー

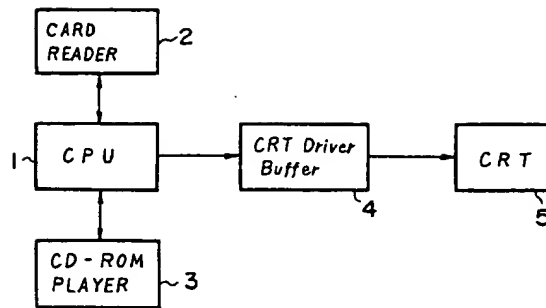
5…CRT

特許出願人 アルバイン株式会社

代表者 香沢 虔太郎



第 1 圖



2 版

